

一、次の文章をよく読んで問いに答えなさい。

(「筑後前司源忠理家入盗人語」<sup>注</sup>『今昔物語集』より)

※口語訳に当たって岩波少年文庫、小学館新編日本古典文学全集を参考にした。

注 方違え 〓 外出するとき、それが不吉な方角であれば、前夜別の方角に行つて泊まり、改めて目的の場所に行くこと。

檜垣 〓 ヒノキの薄板<sup>うすいた</sup>を編<sup>あ</sup>んで作った垣。 検非違使庁 〓 今でいう警察署や裁判所を合わせたようなもの。

唐櫃 〓 衣服などを入れて保存するための大型の箱。 『今昔物語集』 〓 平安時代の終わりに編集された物語集。

問一 〓 a、jの部分<sup>〓</sup>を漢字に直しなさい(送り仮名が必要なのはそれも書くこと)。

問二 (A) 〓 (G) に入る最も適当なことを次の中から選んで、記号を書きなさい(同じ記号は二度以上使いません)。

ア すぐに イ そつと ウ いそいで エ ずいぶん オ そろつて カ ちようど キ ひそひそと

問三 〓 1、「どうにかしようとする」とは、具体的にどうすることだと考えられますか。

問四 〓 2、ア「『そうだ』と答えた」者、イ「その者」、とは誰ですか。解答欄<sup>こたへ</sup>にしたがつて、文中からそれぞれ十一字、

八字ぬき出して答えなさい。

問五 〓 3、「大事な話」の具体的な内容を、できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問六 〓 4、「その間」とはどんな間ですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問七 〓 5、「何ひとつめばしいものはなかった」のはなぜですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問八 〓 6、なぜ忠理は、「満足げに笑つ」たと考えられますか。

問九 〓 7、「このごろの人」ならどうしたであろうと言っていますか。それが書かれている部分の最初と最後の三字を

文中からぬき出しなさい。

問十 〓 8、なぜ新しく来た二人の家来はいなくなつたのですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問十一 〓 ア、イはそれぞれいつですか。最も適当なものを選んで、記号を書きなさい。

a この本が編集されたころ b 私たちが生きている令和の時代 c 忠理が生きていたころ d 忠理が生まれるずっと前

二、次の文章をよく読んで問いに答えなさい。



